

地域医療のかけはし となることを願って

Contents

- P2～3 産婦人科の紹介
- P4 3階東病棟へ行ってみよう!!
- P5 メタボリック症候群患者の超音波検査について
- P6 医療連携室の案内
- P7 大規模災害訓練の実施について
新任 Dr 紹介
- P8 診療日程案内



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会川内病院**

表紙：薩摩川内市東郷町 藤川天神

産婦人科の紹介

済生会川内病院
産婦人科医

永井 さより

SAYORI NAGAI



はじめに

済生会川内病院産婦人科に2015年11月1日から常勤として働かせていただいております。幼少時より川内育ちです。出産を期に地元の病院で働かせてもらうことになりました。よろしくお願いいたします。

全国的に産婦人科医不足が叫ばれているなか、鹿児島県も例外ではなくここ数年新入局員がない状況です。最近テレビで放送されました“コウノドリ”というドラマの影響で産婦人科医が増えてくれることを願うばかりです。当産婦人科は、現在常勤医師4名、非常勤医師1名にて診療を行っています。以前の3人体制の頃より人数は増えてはいますが、松尾産婦人科部長にまだまだ教わることで多く足手まといにならぬよう日々頑張っているところです。地域の中核病院として、人間ドック、産科婦人科の1次医療に加えて、

2次医療にも対応しております。出水地区や甑島などの遠方から搬送されてくる場合も多く、北薩地区の砦として奮闘しております。

産科について

北薩地域の唯一の地域周産期母子医療センター（産科及び小児科等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設のこと）として通常分娩だけでなく、小児科・内科・麻酔科などの先生方の協力のもと、ハイリスク分娩・合併症を持った妊婦さんにも対応しています。34週未満の分娩は鹿児島大学病院・鹿児島市立病院にお願いしております。

妊婦健診ではたまに厳しいことを言うかもしれませんが、安心して出産していただくためにも耳を傾けてください。都市部の病院のような、キラキラした個室での分娩というわけにはいきませんが、経験豊富なスタッ

フに見守られながら安心して分娩することができます。

産後の1か月検診で、お母さんと一回り大きくなった赤ちゃんに会うことが心の糧となっております。



婦人科について

当院の婦人科の手術は、良性だけでなく悪性疾患、腹腔鏡手術まで幅広く治療を行っております。

悪性疾患に関しては、合併症の少ない卵巣がん、初期の子宮

Doctor's eye

体がんなどみつかればできるだけ早く手術に持っていき治療を開始しております。当院で手術を行えない患者さんも鹿児島大学病院を中心としてがん治療の連携がとれておりますのでスムーズに紹介を行うことが出来ます。

良性疾患に関するですが、卵巣腫瘍等は腹腔鏡下手術で行っております。子宮疾患については腹腔鏡を希望する場合は鹿児島医師会病院等に紹介しております。手術時間も短く、傷も小さいので患者さんにとってメリットは大きいかと思います。

悪い病気ではないのですが、子宮脱で悩んでいる患者さんが多いと感じます。妊娠・分娩による子宮支持組織の脆弱化が原因となり、排尿・排便機能を障害することがあります。症状がある場合は患者さんによって保存的に治療したり、手術を行ったりしています。手術は経腔的に行います。

おわりに

現在、産科は月曜日～金曜日まで、婦人科は月曜・水曜・金曜日に外来診療を行っております。基本的には予約制です。産婦人科はなかなか受診するのに勇気が必要かもしれませんが、一度安心して受診してください。

産婦人科医師不足のなか、今後も地域連携をしっかりととりながら最善の医療を目指していうと考えています。まだまだ未熟ですが今後ともよろしくお願いいたします。



Welcome!! 3F Higashi-byoto

3階東病棟へ 行ってみよう!!

目標に向かってたくさんの資格を
取得しています!

CLoCMiPⅢ取得者	4名
ALSO	2名
CTG判読スペシャリスト	2名
NCPR Aコース	10名
PEARS Provider	1名

ようこそ3階東病棟へ!

当病棟は産婦人科25床、他科11床の計36床の混合病棟です。医師4名、助産師10名、看護師13名、看護補助者2名とにぎやかな病棟です。当院は地域周産期母子センターの役割を担い、昨年からNICUが入る等大きく病棟も変わってきました。

平成27年の分娩件数は、395件、帝王切開129件あり、赤ちゃんの大きな産声が病棟中に響き渡り、私たちはもちろん患者様たちもたくさんの元気をもらいました。7年目を迎えた助産師外来も順調で、二人目、三人目と来て下さる方がおられ、嬉しく思います。

その他手術件数は302件、化学療法も多数実施しています。

また、在宅や転院に向けた支援が増え、患者様やご家族が望む退院の方向性をコーディネーターと共に考え援助しています。患者様や家族の望む生活環境の選択は、今後の更なる重要課題と言え、他部門、行政、多施設との連携が今後必要であり力を入れていきたいと考えています。



■ 助産師出向システム

地域の住民の方々が安心・安全なお産ができるような環境を整えるため、県看護協会や鹿児島大学病院の協力のもと助産師出向システムを実施しています。平成27年度は東かすみさんが来て下さいました。

東かすみさんより：9月から33件の分娩介助につき、産婦さんに寄り添う満足のできるお産にたくさん立ち会えました。この病棟は、助産師と看護師の協力体制が整っており、とても働きやすく楽しく仕事をすることができました。今後は済生会での経験を生かし、鹿児島のお産を全力で守っていきます!!

■ 助産師出向研修

NICUの強化と看護業務の整備を目的とし、鹿児島市立病院へ2週間、原口優貴助産師が研修に行ってきました。原口優貴助産師より：鹿児島市立病院の産科・MFICUは、ハイリスク妊産婦を対象にした看護や母体搬送受け入れており、その現状をつぶさに知ることができました。また、NICUでは、早産児ケアや新生児蘇生について多くのことを学びました。当院の地域周産期医療センターとしての役割を改めてじっくり考える機会となりました。この貴重な経験を今後大いに活かしていきたいと思います。



※ CLoCMiP: 助産実践能力習熟段階、ALSO: Advanced Life Support in Obstetrics (周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コース)、CTG: Cardio Toco Gram (胎児心拍数の判読)、NCPR: Neonatal Cardio-Pulmonary Resuscitation (新生児蘇生法)、PEARS: Pediatric Emergency Assessment, Recognition, and Stabilization (小児救急 評価・認識・病態安定化)

第5回

大規模災害訓練の実施について

文責：施設整備課長 久木野 周作

平成27年11月7日に訓練を実施しました。当院は、災害拠点病院であり、大規模な災害が発生した場合は、負傷者の受け入れ等の対応を行う必要があります。今回で5回目の訓練となりましたが、過去においては大地震が発生した事を想定し、多くの負傷者を受け入れる訓練を行ってきました。

今回は2部構成に分けた訓練を実施しました。まず、第1部では今まで同様の受け入れ訓練を実施。第2部では、受け入れ訓練途中で、病院機能が麻痺、いわゆる診療不可となったことを想定し、入院中の重症患者や災害により受け入れた重症患者を他の病院へ避難させるため、救急車両やバス等の車両へ患者を搬送する訓練を実施しました。また、避難



負傷者受け入れ（赤治療ゾーン）

訓練では、受け入れ先病院の調整やドクターヘリ等の連絡対応についても確認しました。1部の訓練は、過去の経験によりほぼスムーズな訓練ができましたが、避難訓練では多くの反省点が見つかった訓練となりました。

今回の訓練には、消防局職員、患者役の学生、薬品、水などの災害協定会社、陸上自衛隊、警察署の方々、多くの参加協力をいただきました。

この訓練は当院の訓練のなかでも、最重要訓練であり、今後も、実態に沿った内容での訓練を継続的に実施し、いかなる災害にも対応できる組織・体制作りを充実させていきたい。



負傷者受け入れ（病院トリアージ）



本部より避難についての指示



重症患者を車両（バス）へ搬送

新任 Dr. 紹介



よろしく
お願いいたします！

新しく当院の医師となった
1名をご紹介します。

産婦人科

氏名：森 まり絵

出身地 枕崎市
前赴任地 鹿児島医療センター
趣味 ショッピング

コメント 1月から済生会川内病院に働くことになりました。現在医師4年目です。まだまだ不慣れなことだらけで、皆様にご迷惑をおかけしていると思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。



1月
より勤務